

「腎臓内科レジデントマニュアル改訂第9版」
正誤表

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

場所	誤	正
<p>23 頁 図 1-10</p>	<p>水欠乏量 = $40 \text{ kg} \times 0.5 \times (175 - 140) / 140 = 5 \text{ L}$ $175 - 140 = 35 \text{ mEq}$, $35 / 10 = 3.5$ 日で補正, $5 \text{ L} / 3.5 \text{ 日} = 1.43 \text{ L/日}$</p> <p>$10 \times 40 = 0.4 \text{ L/日}$</p> <p>$2.7 \times \{(175 - 49.5) / 175\} = 1.94 \text{ L/日}$</p> <p>補正に必要な自由水量 (1日あたり) 3.77 L/日</p> <p>自由水欠乏量補正日数 1.43 L/日</p> <p>不感蒸散 0.4 L/日</p> <p>体外排泄量 (尿) 1.94 L/日</p> <p>①5%ブドウ糖で補正する場合 ・3.77 L/24時 = 157 mL/時 ・5%ブドウ糖液 157 mL/時で投与 ②ソリタT3で補正する場合 ・自由水が少ない(0.6 L/L)ので、輸液量を増やす必要あり ・$144 / 0.6 = 240 \text{ mL/時}$で投与</p> <p>図 1-10 慢性高ナトリウム血症補正例</p>	<p>水欠乏量 = $40 \text{ kg} \times 0.5 \times (175 - 140) / 140 = 5 \text{ L}$ $175 - 140 = 35 \text{ mEq}$, $35 / 10 = 3.5$ 日で補正, $5 \text{ L} / 3.5 \text{ 日} = 1.43 \text{ L/日}$</p> <p>$10 \times 40 = 0.4 \text{ L/日}$</p> <p>$2.7 \times \{(175 - 49.5) / 175\} = 1.94 \text{ L/日}$</p> <p>補正に必要な自由水量 (1日あたり) 3.77 L/日</p> <p>自由水欠乏量補正日数 1.43 L/日</p> <p>不感蒸散 0.4 L/日</p> <p>体外排泄量 (尿) 1.94 L/日</p> <p>①5%ブドウ糖で補正する場合 ・3.77 L/24時 = 157 mL/時 ・5%ブドウ糖液 157 mL/時で投与 ②ソリタT3で補正する場合 ・自由水が少ない(0.6 L/L)ので、輸液量を増やす必要あり ・$144 / 0.6 = 240 \text{ mL/時}$で投与</p> <p>図 1-10 慢性高ナトリウム血症補正例</p>
<p>28 頁 表 1-15 内 周期性四肢麻痺 の機序</p>	<p>細胞内から細胞外へ K がシフトすることによる低カリウム血症</p>	<p>細胞外から細胞内へ K がシフトすることによる低カリウム血症</p>
<p>37 頁 sidememom 内 1 行目</p>	<p>細胞外から細胞内への K のシフトによって</p>	<p>細胞内から細胞外への K のシフトによって</p>

237 頁 表 10-8	GFR	≥60	59~30	30<	GFR	≥60	59~30	30>
	インスリン	通常量	慎重	禁忌	インスリン	通常量	慎重	慎重
364 頁 図 24-5 内	<u>希釈後</u>				<u>後希釈</u>			
365 頁 下から 9 行目	…従来のスタンダードな透析（週 3 回 <u>2~4 時間</u> ）から、				…従来のスタンダードな透析（週 3 回、 <u>1 日 4 時間</u> ）から、			
375 頁 上から 9 行目	…（hANP）の値（ <u>40pg/mL 以内</u> ）,				…（hANP）の値（ <u>50pg/mL 前後がめやす</u> ）,			

2024 年 7 月
診断と治療社

「腎臓内科レジデントマニュアル」
正誤表

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

場所	誤	正
19 頁 表 1-9 内 急性の目標	・自由水欠乏量を 2 時間で補充	・自由水欠乏量を <u>24 時間</u> で補充

2023 年 12 月
診断と治療社